

# 国会開会せず衆院選へ!?

## 甲賀市議選と同日投票濃厚

新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからない状況の中、「臨時国会を開いてコロナ対策に力を集中すべき」という野党の要求にも応じない菅政権は、そのまま衆院選に突入する動きを強めています。現衆院議員の任期は10月21日なので、こ

のまま推移すれば、4年前と同様に甲賀市議選(10月10日告示)と同日投票で総選挙(10月5日公示)が行われるのが濃厚です。国政も市政も、コロナの危機からのちと暮らしをどう守っていくのか、が大きく問われる選挙となりそうです。

開会中の9月定例議会は8月31日に議案質疑が行われ、日本共産党の山岡光広、小西喜代次、岡田重美の各議員が、一般会計決算、国保・介護特別会計決算、病院事業会計決算、一般会計補正予算案など7議案について質疑を

### 令和2年度一般会計決算など7議案について質疑



山岡光広

#### 《一般会計決算》

山岡議員は、一般会計歳入歳出全般にわたって特徴点を質疑しました。令和2年度決算は、歳入歳出とも過去最大の規模。その要因はコロナ対策ですが、「コロナ関連を除けばどのくらいの規模か」との問いに、「歳入歳出ともに過去5番目の規模」と回答。また対前年度比44.7%の減収が目立つ法人市民税は、税制改正やコロナ、景気動向による影響。主に医薬品などの製造業とのこと。また消費税率10%への引き上げによって、「2億2638万円の経費増」となったことが明らかになりました。

#### 《国民健康保険特別会計》

コロナの影響を受けた国保税の減免等については、「徴収猶予は36件で289万円、減免は98件の申請のうち86件1763万円を承認した」との答弁でした。また、県への納付金について、県の国保特別会計基金は44億円となっていることから、県の基金を繰り入れして全体の納付金額を引き下げるべき、市から県へ意見を付すべきと指摘、「連携会議を通じて要求していく」との答弁でした。

#### 《診療所事業会計決算》

の答弁がありました。外来患者減や医療収益減、今後の課題などについて質疑。感染防止対策として職員へのPCR検査実施については、「現在実施していないが、安心安全のため検討していく」との答弁でした。

#### 《病院事業会計決算》

だけに、前年度と比べての変化を質しました。人件費は前年度より5億7611万円増額しています。その要因は令和2年度に会計年度任用職員となった人数は667人。また正規職員の時間外勤務は、昨年度より1万437時間増、最も多かった職員の年間時間数は960時間で、マイナンバー普及促進に関わる業務であることも明らかに。

#### 《令和3年度一般会計補正予算》

岡田議員は令和3年度補正予算案の医療・介護・福祉人材求人活動支援事業について質疑。コロナの影響を受け深刻となっている医療・介護・障害福祉の人材確保のため、求人経費について一部助成が行われるものですか。



小西喜代次

#### 《一般会計決算》

小西議員は、市職員の賃金、特に会計年度任用職員制度が導入された初年度

#### 9月議会 主な議案

- 令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定  
歳入決算額は、前年度比5億6391万円増の525億7504万円、歳出決算額は前年度比54億6083万円増の506億3067万円
- 令和2年度国保・後期高齢者医療・介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求める…31日の本会議で全員可決・承認
- 令和3年度一般会計補正予算(第5号)  
新型コロナウイルス感染防止対策として新型感染症予防事業、地域経済好循環創出事業、信楽高原鉄道施設管理運営事業、その他事業として市立保育園施設維持補修事業、伴谷統合認定こども園整備事業など
- 第4次行政改革大綱を定めることにつき議決を求める  
市の行政改革の取組みの方向性と方策を示す基本方針

### 日本共産党

### 甲賀市議員団ニュース

2021年 9月5日 第372号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
Tel 83-0765  
Fax 83-0765



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax